

令和4年度

母乳育児のつどい
(母乳育児研究集会)



富山県母乳育児推進のシンボルマーク

日時 令和4年11月26日(土)

方法 ハイブリッド開催

(会場：県民会館 509号室)

主催 富山県母乳育児推進連絡協議会・富山県

母乳育児のつどい（母乳育児研究集会）

1 日時

令和4年11月26日（土）13：30～15：00

2 方法

ハイブリッド開催（会場：県民会館509号室）

3 内容

①開会挨拶・報告 13：30～13：45（15分）
富山県母乳育児推進連絡協議会長 畑崎 喜芳

②特別講演 13：45～14：45（60分）
講演 「母乳育児に関わる人へ
～母親が自信を持って退院できるために～」
講師 国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院
看護部次長（助産師） 大谷 ゆかり 氏

③母乳育児シンポジウム研修報告 14：45～15：00（15分）
報告者 上市町役場福祉課 助産師 中村 昌子 氏

主催：富山県母乳育児推進連絡協議会、富山県

コロナ禍における母乳育児支援



富山県立中央病院小児科
畑崎喜芳

国	機関	母子同室	直接授乳	搾乳
米国	産婦人科学会	母親と協議	可能	可能
	小児科学会	可能	可能	推奨
	CDC	母親の意志	推奨	推奨
英国	英国ユニセフ	推奨	推奨	推奨
	産婦人科学会 小児保健学会 など	推奨	推奨	推奨
カナダ	保健省	可能	可能	可能
国際	WHO/ユニセフ	すべき	すべき	すべき
日本	産婦人科学会	不可	不可	不可
	小児科学会		可能	可能
	新生児成育医学会	希望の時検討	不可を推奨	推奨

機関	日付	母子同室	直接授乳	搾乳
日本産婦人科学会 日本産婦人科医会	2021/8/10	不可	不可	可能

Table 1. Characteristics of 66 Women with Confirmed SARS-CoV-2 infection^a

	No Detectable SARS-CoV-2 in Breast Milk Samples (N = 59)	Detectable SARS-CoV-2 in Breast Milk Samples (N = 7)	P-value
--	--	--	---------

Table 2.

Participant	Number of Symptoms	Number of Days Symptomatic	Symptomatic at Time of Sample Collection	SARS-CoV-2 RNA in Milk Samples (copies/mL)	sgRNA	Viral Culture
8*	9	18	Yes	25,100	Negative	Negative
22	10	17	Yes	2,400	Negative	Negative
24	16	65	Yes	3,230	Negative	Negative
27**	9	13	Yes	10,000	Negative	Negative
42	8	17	Yes	12,000	Negative	Negative
47	5	4	Yes	11,200	Negative	Negative
49	7	7	Yes	1,050	Negative	Negative

*Previously reported

**Woman was symptomatic but not tested

COVID-19 guidelines for pregnant women and new mothers: A systematic evidence review

Madeline A. DiLorenzo¹ | Sarah K. O'Connor² | Caroline Ezekwesili³ |
Spoorthi Sampath⁴ | Molly Zhao⁴ | Christina Yarrington² | Cassandra Pierre¹

Int J Gynecol Obstet. 2021;153:373–382.

米国 Boston Medical Center からの投稿。このシステマティックレビューで筆者らは 2020 年 11 月 8 日までの計 385 の論文を取り上げ、そのうちの 74 の論文を解析した。

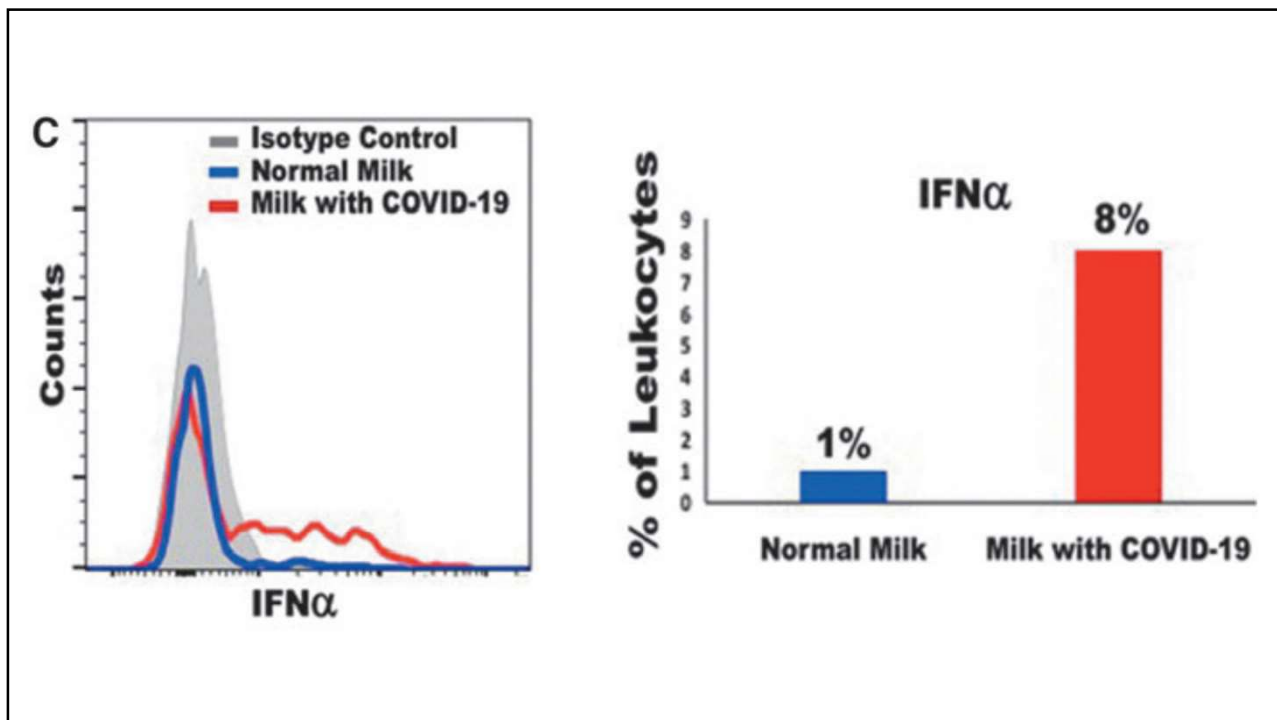
多くの論文は母乳を介しての感染は起こりそうにないことを支持。

大部分の論文は、強化された予防措置を行いながらの直接授乳を推奨。感染予防の推奨としては、マスクの装着、手指衛生、および（母親の胸の）表面の適切な洗浄が強調されている。

分娩後のソーシャルディスタンスに関する推奨はさまざま。

母親または児が症候性であった場合のみ、分離を行うべき。

新しく発表された論文では、可能であれば母児同室にすることをしばしば推奨。



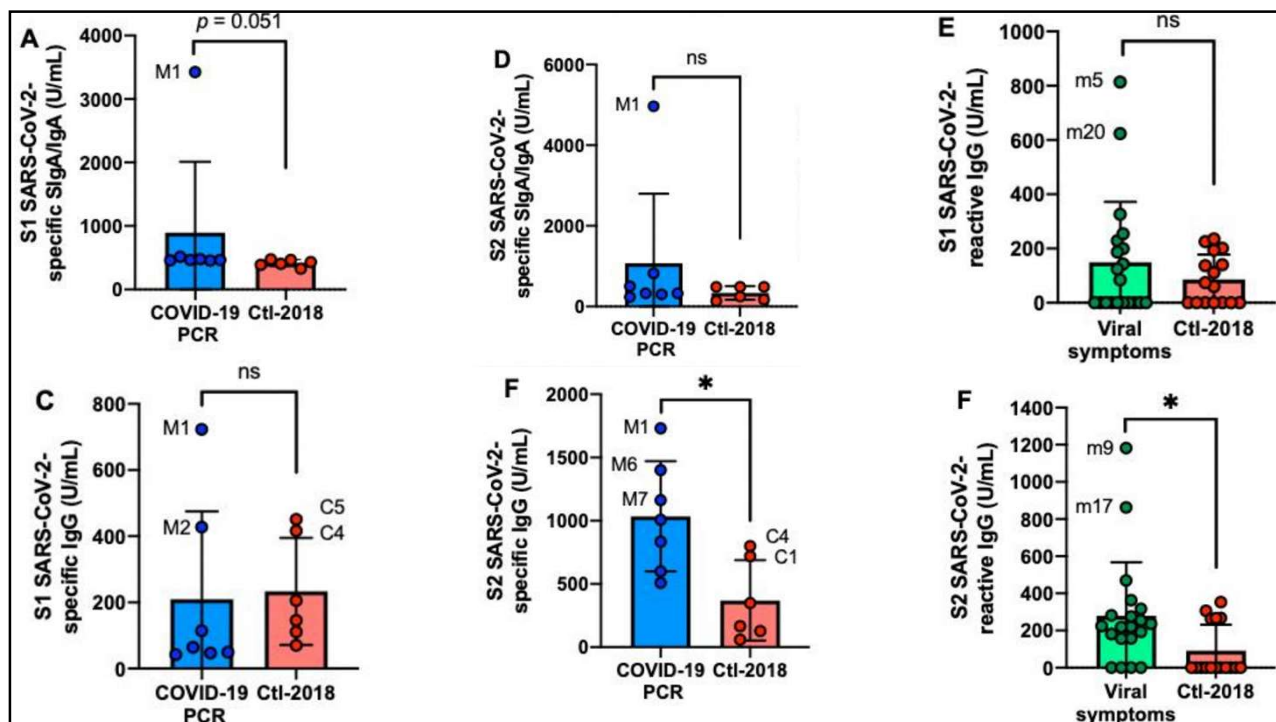
Human Milk Antibodies against S1 and S2 Subunits from SARS-CoV-2, HCoV-OC43, and HCoV-229E in Mothers with a Confirmed COVID-19 PCR, Viral SYMPTOMS, and Unexposed Mothers

Veronique Demers-Mathieu ^{1,2,*}, Ciera DaPra ¹, Gabrielle Mathijssen ¹, David A. Sela ², Kirsi M. Järvinen ³, Antti Seppo ³, Shawn Fels ¹ and Elena Medo ¹



SARS-CoV-2 の PCR 検査で陽性だった女性グループ(7 名)

COVID-19 パンデミック下でウィルス性の症状を呈したが検査を行わなかった女性グループ(20 名)

対照群としてパンデミック以前のウィルスに暴露されていない女性のデータ 2 つ (6 名 と 16 名)



SARS-CoV-2 genome and antibodies in breastmilk: a systematic review and meta-analysis

Faith Zhu,^{1,2} Carlos Zozaya ,^{1,2} Qi Zhou,^{1,2} Charmaine De Castro,³
Prakesh S Shah ,^{1,2}

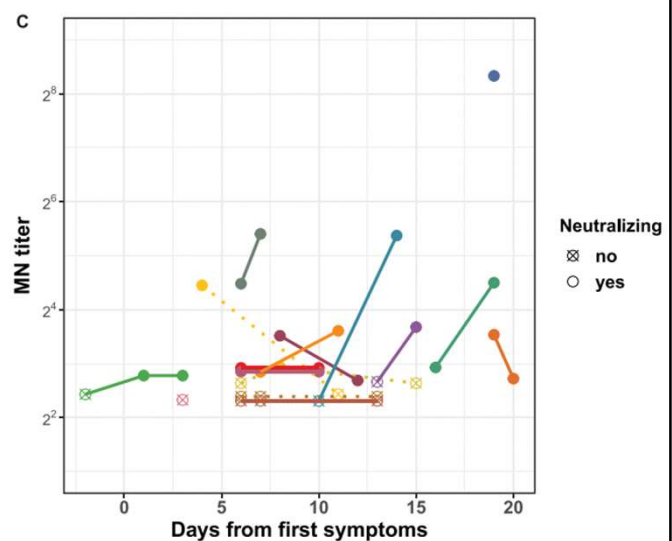
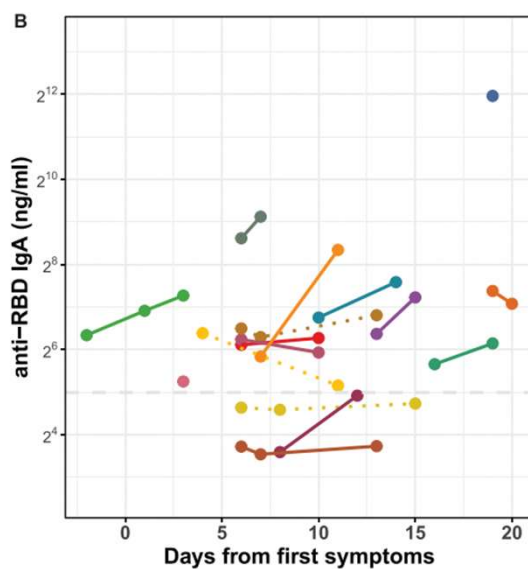
- 48の論文の183名の女性のうち12名で、母乳中のSARS-CoV-2ゲノムが陽性。12名の母親のうち6名の児はSARS-CoV-2陽性。
- 10の論文の89名の女性のうち、69名で母乳中に抗SARS-CoV-2抗体が検出され、IgAが優勢。
- SARS-CoV-2に感染した母親はカウンセリングと衛生についての教育を行った上で母乳育児を行うことが推奨されると結論。

Characterization of SARS-CoV-2 RNA, Antibodies, and Neutralizing Capacity in Milk Produced by Women with COVID-19

Ryan M. Pace,^a Janet E. Williams,^b Kirsi M. Järvinen,^c Mandy B. Belfort,^d Christina D. W. Pace,^a Kimberly A. Lackey,^a Alexandra C. Gogel,^a Phuong Nguyen-Contant,^e Preshetha Kanagaiah,^e Theresa Fitzgerald,^e Rita Ferri,^c Bridget Young,^c Casey Rosen-Carole,^c Nichole Diaz,^c Courtney L. Meehan,^f Beatrice Caffé,^f Mark Y. Sangster,^e David Topham,^e Mark A. McGuire,^b Antti Seppo,^c Michelle K. McGuire^a

COVID-19 と診断された 18 名の母親から得た母乳 37 検体を調べたが SARS-CoV-2 RNA は検出されなかった。

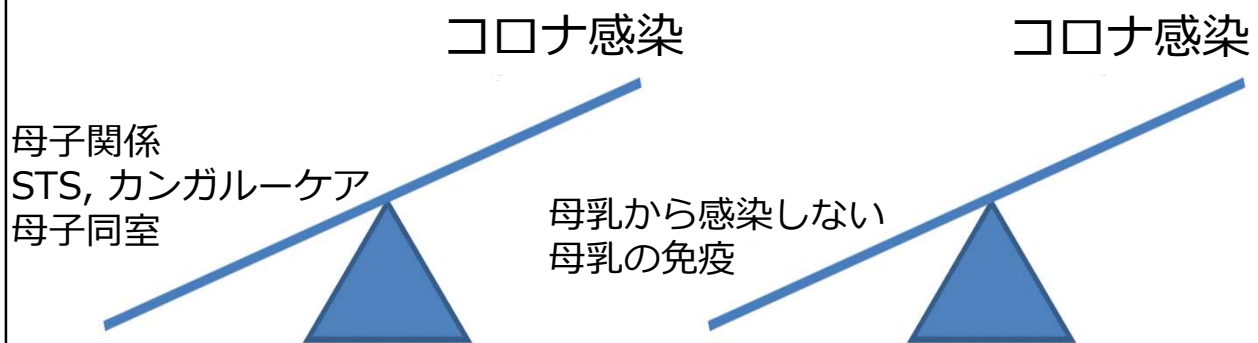
COVID-19 に罹患した母親の母乳検体の 76%には、SARS-CoV-2 特異的 IgA が含まれ、80%に SARS-CoV-2 特異的 IgG が含まれていた。さらに、62%の母乳検体では in vitro で SARS-CoV-2 の感染性を中和した。



Shared decision-making for infant feeding and care during the coronavirus disease 2019 pandemic

Laura N. Haiek^{1,2,3} | Michelle LeDrew⁴ | Christiane Charette^{1,5} |
Melissa Bartick^{6,7}

Matern Child Nutr. 2021;17



子育てのイメージ

かわいい！ 生きがい！ 感動！ しあわせ！ 楽しい！
感謝！ うれしい！

忙しい！ 自分を見失いそう！ 大変！ 辛抱！ 修行！
つらすぎる！ 泣きたくなる！ どうしていいかわからない！
何もできない！ 自分より子ども？ もういや！

何があっても

まず抱いて！

そこから全ては始まります。



2022年11月26日

母乳育児に関わる人へ

～母親が自信を持って退院できるために～



国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院
助産師 大谷ゆかり

本題の前に・・・自己紹介①

京都府舞鶴市生まれ

舞鶴市は・・・

京都府北部に位置する日本海に面した地域

人口：約8万人 高齢化率 31.8% (R2年現在)

【参考】全国28.4% 京都府29.0% (R.元年)

※海上自衛隊がある＝転勤族多い

※設置母体の違う公的病院が**4施設**
(旧国立病院、日赤病院、市民病院、当院)

※小児科医不在の当院と
産科医不足・NICUをもつ医療センターが協働

海の京都



本題の前に・・・自己紹介①



国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院（財務省認可法人）

一般急性期・地域包括病床 病床数300床

明治40年（1907年）3月に、舞鶴海軍工廠職工共済会病院として創立
循環器センター（心臓リハビリ、大血管手術も受入れ・緊急搬送OPも多い）

京都北部最大規模の透析センター（35床）

医師不足 ・ 看護師不足

2006年に京都府で第一号の

『赤ちゃんにやさしい病院（Baby Friendly Hospital（BFH）』認定

少子高齢化もあり、混合病棟化が加速・・・産科より他の疾患の患者が多い（女性病棟）

小児科医の退職により、分娩受け入れ体制の変更（他院の医師との協働）

助産師の働く環境が変化



本題の前に・・・自己紹介②



- 小中学校は舞鶴のさらに田舎で生まれる（小学校の同級生は10人！）

「自分の生き立ち」授業で、**自宅出産**だったことを知る

・・・助産師との縁①？

- 看護基礎教育は 岡山県へ

母性実習で「**助産師**」という職業に出会う＝『これだ！』

・・・助産師との縁②

助産師学校も岡山だったが、**母乳育児支援・BFH**は知らず

・・・母乳育児支援との縁①

- 京都市内の病院に新卒助産師として就職、3年間勤務

外科と混合病棟、**母子同室**を経験・上司が**母乳外来**を立上げ

・・・母乳育児支援との縁②

- 1993年に**舞鶴共済病院**に中途採用・・・**山城医師との出会い**

・・・BFH活動の始まり

B F Hのはじまり

1993年、その頃の病棟環境は・・・

1993年頃：超ベテラン助産師が定年退職し、
中堅看護師と若手助産師6人

1994年頃：新館（現B棟）建築に伴い病棟再編

・・・新人助産師 6名採用！・・・今の病棟中心メンバー

元産婦人科部長 山城 玄先生 からの呼びかけ

『**母乳育児支援**』 『**いきまない自然なお産**』 をしよう！



「助産師」のやりがい を実感

チャンス

新しい取り組みの好機

B F Hのはじまり

* 1993年に舞鶴共済病院に中途採用・・・山城医師との出会い ……BFH活動の始まり

1995年頃～ 母子同室開始

・・・前医での母子同室の経験を活かし立ち上げメンバー！

• 2006年に赤ちゃんにやさしい病院に認定！

2009年～病棟師長

2014年～看護部教育担当専従

・・・**色んな取り組み**（忙しいが充実！）

・・・産科病棟とも離れる（寂しい）



• **2016年から日本母乳の会研修委員としても活動**（2021年～次長）

本日は、このような機会をいただき有難うございます

病棟勤務時代に取り組んだこと①

母乳育児サークル開催（2ヶ月・6ヶ月・1歳）

2ヶ月同窓会



Twins801の会



ハーフバースデー



おっぱいキッズの
1歳お誕生会



母乳石鹸講座



コロナで休止

病棟勤務時代に取り組んだこと②

B F H見学ツアー開催（院外から参加受け入れ）

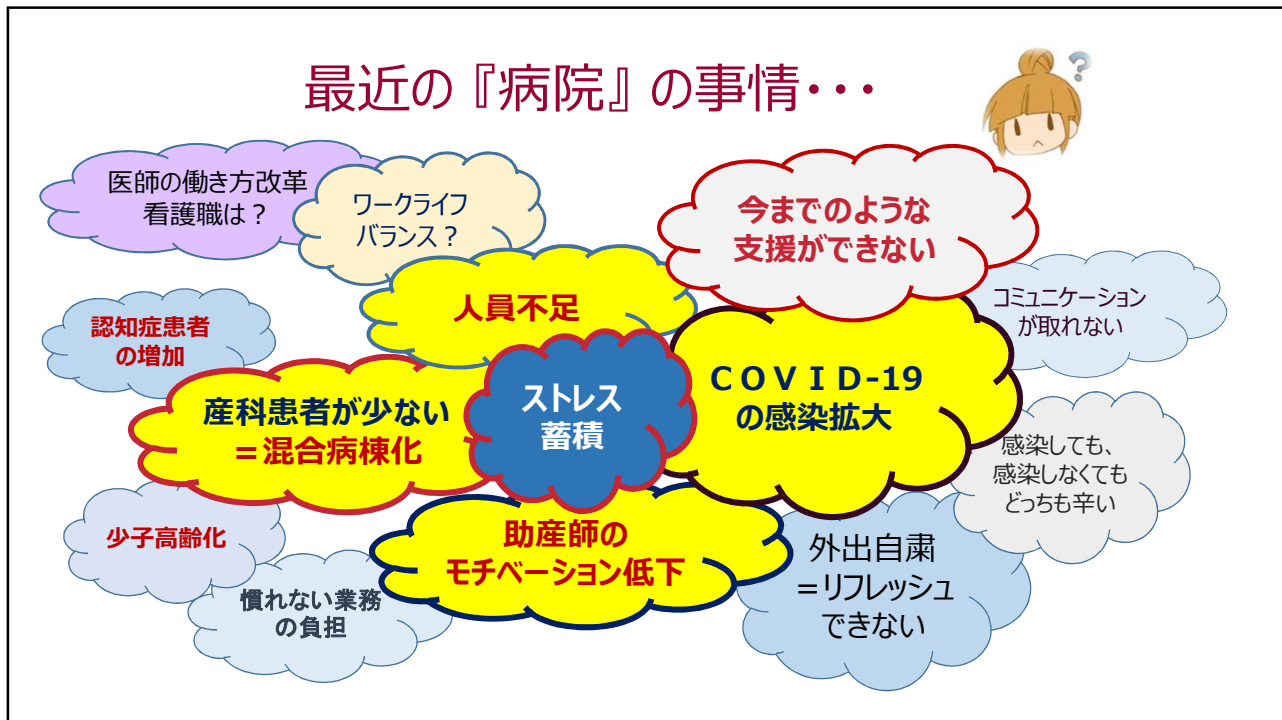


コロナで休止

B F H見学ツアーの目的

- * B F Hの敷居を下げる = 母乳育児を身近に感じ、自施設に取り入れる
- * 院外者からの承認 = スタッフのモチベーションアップ

最近の『病院』の事情・・・



最近の『お母さん達』の事情も・・・



こんな今だから、一緒に考えたい・・・

お母さん達も、支援するスタッフも、みんな『大変』！

母乳育児支援、進めづらい・・・

母乳育児支援に向き合えない・・・

母乳育児にこだわらない・・・

そこまでして母乳育児支援をおこなうのか？

なぜ 母乳育児支援 を行うのか？

Q.なぜ 母乳育児支援 を行うのか？

私達が目指す

母乳育児支援とは？

スパルタ 

完全母乳育児？ 直接授乳ができる事？ 長く母乳を飲ませること？



お母さんが、「母乳を飲ませられて良かった」
「母乳育児をして良かった」と思えること！



「母乳育児」をすることで、満足感・達成感 を感じられる！



Q.なぜ 母乳育児支援 を行うのか？

「母乳育児」をすることで、**満足感・達成感** を感じられる！



*この経験が、**母親としての自信** につながる



「母になる過程」を支える母乳育児！



人間の子育ては、他の動物とは違う

- 動物は、生まれて間もなく、自分で立ち上がり、歩き出す
自ら食べ物（おっぱい）を探し出す
自ら立ち上がれない者 = 自然界では「死」を意味する
子孫を残すため、ひとりでも生き延びられるようにするのが役目

独り立ちまで、何年？？？ 10年？ 20年？ それとも・・・
子育て = ひとりの人間を育てるということ = 容易なことではない！

（社会で生きていく術・・・躰）

山あり谷あり、悩みもつきない・・・**乗り切る力**が必要



Q.なぜ 母乳育児支援 を行うのか？

*この経験が、**母親としての自信** につながる



これから先、育児の困難な場面を**乗り切る力**になる
母親としての**本能**(= 子供を守り抜く) を目覚めさせる
授乳行動で愛着形成 = 人を信頼する「**心**」を育てる
授乳期間は、子育て期間からすれば、ほんの一部！

「母になる過程」を支えるのも母乳育児！



そんな母乳育児ですが・・・

皆さんは、どんなイメージを持っているでしょう？



「出来れば、母乳で育てたい！」妊婦さんは90%以上！
でも実際には、こんなイメージも・・・



ゆっくり休ませて
もらえない

赤ちゃんが泣いても、何も（ミルクも）
飲ませてもらえない
= 赤ちゃんがかわいそう・・・

仕事復帰で保育園などに、
預けるときに困る

お母さんが
大変そう～
かわいそう・・・

スパルタ教育！
スタッフが厳しそう、怒られる

お母さんにやさしくない！

せっかくの支援もこれでは寂しい・・・

良いと分かっているけど、
まだまだ誤解されやすい・・・？

Q. 母乳育児って「大変」・・・と思われる理由

1) 頻回授乳が大変！・・・なんで泣くの？

- ・さっきも飲ませたのに、もう授乳なの？
- ・ずっと飲ませてるんだけど・・・

2) 母子同室が大変！・・・自由が無いの？

- ・家に帰ったら1人でゆっくり休めないから同室はしません！
- ・赤ちゃんってこんなに泣くの!?

3) 母乳が出るまで大変！・・・母乳が出るの？

- ・おっぱいって、直ぐに出るものじゃないの？
- ・母乳出てないのに、なぜ吸わせるの？

赤ちゃんの
ペース

お母さんに、
やさしいって・・・？

『お母さんが大変だから補足（ミルク飲ませて）してあげよう！』
・・・本当に、お母さんのため？ ... 自分達のため？

母に『**楽なこと**』=『**やさしいこと**』？

楽なこと ≠ **やさしい支援**

母が **退院後、安心して「子育て（母乳育児）」**が出来る ように導くこと！

入院中から、退院後を見すえた支援が大事

1. 母が、**退院後**すぐに、「**育児に困らないスキル**」を身につける
2. 母が、**退院後**、安心して子育てできる「**環境**」を整える
3. 母が、**退院後**困ったときの「**よりどころ**」をつくっておく

母乳育児を支える側に必要なこと・・・

これから先も、まだまだ続く「育児」のために！



「大変」と思いながらは、始められない

やってみないと、始まらない

どうする？ どうしたら始めるきっかけになる？





ちょっと考えてみよう

イクメン（育・MAN＝男＝夫）って、何をしてくれる？

ex)授乳、沐浴、オムツ替え、抱っこ、料理、洗濯・・・？



本来、「夫の役割」「父親の役割」は何なのか？

母親（妻）が求めるサポートとは何なのか？

単に、育児(技術)・家事を手伝ってほしい **ばかりではない！**



その前に、

自分の頑張り・大変さを **理解して、認めてくれる** 存在であること！

「**私を守ってくれる・大事にしてくれる**」存在であること！

母親（妻）の **精神的サポート** が重要！

物事を **長く続ける** には、何が必要か？

1. 自分（の頑張り）を **認めて** もらえる ……承認、寄り添う
2. （辛い時に）自分を **支えて** くれる ……サポート、よりどころ
3. **仲間** がいる ……分かり合える
4. **成果**（結果）を感じる ……やりがい、楽しい
5. **自信** が持てる ……自分にもできる
⇒**継続** できる
6. 気持ちが **安定** する、落ち着く ……大丈夫（**安心感**）

始めたら、続けてほしい・・・

母乳育児を長く続けていくためには・・・

本人のやる気を維持する

- ①「母乳育児」をネガティブイメージにさせない
- ②達成感・やりがいを感じる
- ③自信をもてる（ように声かけする）
- ④周囲のサポート（頼りになるもの）がある

・・・退院後のフォロー体制（家族・地域）も！

支援者（スタッフ）の視点 何が必要か？



ポイント①：母乳育児を、「苦痛」にさせない！

誰でも、痛いこと・辛いことは、続けられない・・・



1. 「授乳そのもの」が苦痛・・・乳頭トラブルを防ぐ！
乳頭発赤・亀裂の予防⇒妊娠中からの乳頭ケアで予防
⇒初回の授乳指導は重要！
はじめから、押せ押せはダメ！本人のペースで
亀裂が出来た ⇒ 「頑張って飲ませてくれたね！」と承認
2. 「待つこと」が苦痛・・・おっぱいが出るまでの経過を伝える
正しい知識をもつ、見通しを伝える
毎日の些細な変化も、きちんと伝える
3. 「疲労」が苦痛・・・慣れない環境・生活をサポート
母の頑張りを承認、食事・休息のとり方、リラクゼーション
孤独にさせない、いつでも頼れる場所・人・・・授乳室

ポイント②：母の『ヘルプサイン』を見過ごさない！

誰かに助けを求めることができるのは、とても大事！

いつでもOK
天使の微笑み



1. 「いつでもOK！」のオーラーをだす

お母さんは、スタッフをよく観ている、マスクの中の表情も大事

2. 母の「心の声」を聴く…本当は何を言いたいの？

気の済むまで傾聴・共感 → どうしても無理なら、家族の出番！

3. 「大丈夫」の一言で不安解消！

私たちの（特に医師の）一言は影響力大！…しかし、逆もあり

母のヘルプサインとは…

- * そわそわ、廊下で抱っこしながらウロウロしている
- * スタッフを探している、チラチラ見ている、目配せしている
- * 授乳時間が長い、2時間以上授乳している、授乳表が真っ黒！
- * 授乳が終わっても、動こうとしない（終われない…）
- * 泣いていても児をただ見つめている、授乳しない
- * 表情が硬い、笑顔がない、ため息
- * 涙もろい、涙目
- * あやし方がぎこちない
- * 質問が多い
- * ご飯の食器がいつまでも片付かない



* 飲んでもすぐ泣くんです
* 泣き止んでくれない
* 足りないんじゃないかな
* 出ないし赤ちゃんかわいそう
* どうしたらいいんですか
* 疲れた…
* はあ…

母のことば

ポイント③：母親を、「認める」・「ねぎらう」・「褒める」

スタッフの3原則・・・母親を、「認める」・「ねぎらう」・「褒める」



授乳室



- 母の頑張りを認める、褒める
- 出来ていることを、しっかり伝える
- 母親の考えを、否定しないで、受け止める
- 指導ではなく、支援する態度
- 視線を感じさせつつ、威圧感にならない見守り
- 病棟にいる人、みんなで声かけ・・・見守っている合図
- 他のお母さんとの交流の場・・・コロナでソーシャルディスタンス



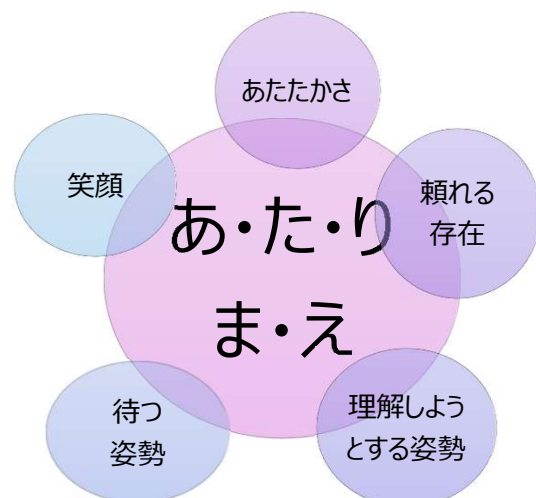
母親が、「支えられている」「見守られている」と思える、人や場所・存在である事！

そこに居る『スタッフ』の存在って大きい！

支援者に必要な姿勢とは・・・

ごくごく、あたりまえのことですが・・・

- ・あ：包み込むような温かさ【アセスメント】
- ・た：頼れる存在【タイミングのよい声かけ】
- ・り：相手を理解しようとする姿勢
- ・ま：待つ姿勢、待てる気持ちの余裕
- ・え：やっぱり「笑顔！」、いつでも「笑顔！」





ちょっと
考えて
みよう

Q. 陥没・扁平の場合、どうする？



乳頭の形状 ≠ 授乳に不適切

本当に、吸着できないの？… しっかりアセスメント

・大事なのは突出だけでなく、柔軟性！（伸びが良い）

指1関節分つまめれば、吸着は可能！

・抱き方の工夫… 介助者の手技も重要！



赤ちゃんのもつ偉大な力を信じる！

・「エ～」と思うおっぱいでも吸える子はいる！

・赤ちゃんが、自ら矯正してくれる！

・今吸えなくても、**この先、吸えるようになるか** が大事！

お母さんの気持ちに寄り添う… 育児は始まったばかり！
お母さんを勇気づけ、長い目で見守ることが大事！



どうしても、補足が必要・直母が難しい…

必要なものは使う…お母さんが退院後、困らないための手段
でも **必要なくなったもの・必要なくなった時は、使い続けない！**
はじめる時は対応が早い、やめるときの対応は遅れがち
使うときのリスク、使わないときのリスク

必要な、カンファレンスを行って、アセスメント力を高める
ミルクの補足は、風邪薬 と思って使う

お母さんと、しっかり話し合っ、選択する



どんな助産師を育てたいか・・・

母親の『安心感』『よりどころ』となれる助産師

支援者も日々自己研鑽、スキルと「姿勢」を身につける

倫理感、意思決定支援

自分はなぜ母乳育児を勧めたいのか？言える

ずっと一緒 → ほんとに困ったときに助けられる

あくまでも「助ける人」で、**主役はお母さん！**



まず、お母さん（妊婦さん）の声を聴こう！

お母さんの、目指すところ（母乳育児）はどこなのか？

- * ひとりひとり、目標とするものは違う！
- * しっかり妊娠中から考えてもらう
- * まずは、小さな目標からでもOK
ちよっただけ背伸びしたら届くところがちょうどいい
- * 達成できた体験を、積み重ねることが大事
出来たら、次を目指す姿勢



「母乳育児」をすることで、**満足感・達成感**を感じられる！



余談
ですが

「授乳室」のもつ意義は？



- * 初回授乳指導時に、丁寧にかかわれる
正しい姿勢・抱き方・啜えさせ方など、手を添えながら行いやすい
- * ひとりのお母さんに発した言葉を、他の人も聞いている・・・相乗効果
私だけじゃないんだ
- * 部屋の**明かり**は、**不安な気持ち**になりにくい・・・
- * しばしの「**逃げ場所**」になる・・・頑張りすぎると心が折れる⇒やめたくなる
少し距離をおくと、また元気になる
- * 疲労が溜まった母に休息の時間を与えられる
児をあずかってもらっても、なんだか気になる・・・結局、離れたら赤ちゃんが心配
赤ちゃんがいる生活が当たり前で、安心できる時間を感じる



お母さんへ … 「こんなもんです」 でちょうどいい



おっぱいをあげることは、ごく当たり前のことです。

ですが、それが**思うように**上手いかないこともあります。

それは、**ひとりひとり違う**人間だから

兄弟でも性格が違うように、みんな「自分」のペースややり方があって、大人だって自分の「**こだわり**」があるように、夫婦でも違います。

赤ちゃんも同じです。赤ちゃんは、自分で話せない＝泣くことでアピール。

赤ちゃんの思いを察するのは大変だけど、赤ちゃんもまた同じです。

その分、分かり合えたとき、とっても**愛おしく**なります。

肩の力をぬいて、一歩ひいて見たら、案外ヒントが見つかるかも・・・

コロナ禍で、対面の活動ができなくなり、
肌と肌とのふれあいがもたらす安心感や
安堵感をあたえにくい状況が続いています。
ですが、

いつの時代であっても、母と子の絆は変わらない・・・
私たちは母子のしあわせな未来をめざして
母子にとって、たよれる存在でありたいと思います。



大切な小さな命と、未来のために・・・

ご静聴ありがとうございました

母乳育児シンポジウム研修報告

上市町役場福祉課
中村 昌子

報告内容

1. 目標
2. 研修概要
3. 研修で学んだこと
4. 課題と対策
5. まとめ

1.目標

BFHの母乳育児支援を学び、
保健センターで実践できる母乳育児支援を考える

2.研修概要

1日目

ベビーフレンドリー母乳育児支援施設発表

一般演題…9施設の発表

実践報告1「母乳育児基本 乳頭ケアと山内3.5カ条」

研究・実践報告2「母子同室・同床・添い寝の調査・実践について」

シンポジウム1「長く母乳育児を続けていくために：現場での取り組み」

2日目

特別企画「日本母乳の会 30周年を迎えて-過去から未来へつなぐ」

日本母乳の会からの提言「お母さんにやさしい分娩時のケア」

特別講演「母乳と感染症」

シンポジウム2「母乳育児伝えること・伝わること」

3.研修で学んだこと

- ① 妊娠中から行う乳頭ケアの必要性
- ② ミルクを勧めるは優しさでない

3.研修で学んだこと

- ① 妊娠中から行う乳頭ケアの必要性

山内3.5カ条

- 1 : 出産**30分以内**に初回授乳をさせること
- 2 : 出産24時間以内に、**7回以上**（初回授乳は含まず）飲ませること
- 3 : 出産直後からの母子同室、母子同床にすること
- 3.5 : 乳管開通操作を陣痛が起こったら始めて、乳管のつまりを取っておくこと

3.研修で学んだこと

できれば母乳あげたいな～
産んだら自然と母乳出るよね♪



正しい母乳育児のイメージづくりを支援
妊娠中から産後の乳房・乳頭の変化を説明

3.研修で学んだこと

硬い乳頭



やわらかく、伸展性のある乳頭

3.研修で学んだこと

- ① 妊娠中からの乳頭ケアの必要性
- ② ミルクを勧めるは優しさでない

3.研修で学んだこと

- ② ミルクを勧めるは優しさではない

産後45日目のAさん



「夜は寝たいのでミルクを足しています」

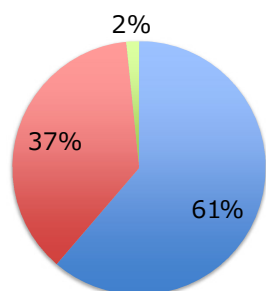
「そうですね。体重も問題ないので
そのままでいいと思います。」



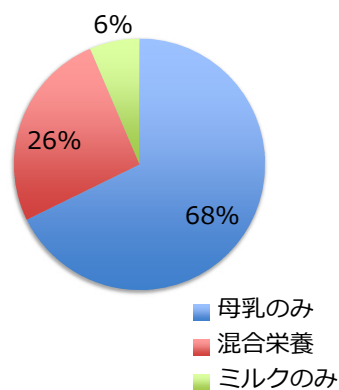
3.研修で学んだこと

令和3年度 上市町の栄養方法

退院時 栄養方法



生後2か月 栄養方法



■ 母乳のみ
■ 混合栄養
■ ミルクのみ

3.研修で学んだこと

補足の医学的適応

- ・赤ちゃんに脱水症状がある場合
- ・高ビリルビン血症
- ・乳汁の生産が遅れている場合
- ・何らかの理由で直接哺乳できない場合
(感染症、母親の服薬、先天奇形など)
- ・体重増加不良
- ・栄養的に補足が必要である場合

…など

3.研修で学んだこと

どうしてミルクを足すことにしたのか？

家族に預けたいから

無理したくないから

泣き止まなくて

家族に言われて

大変だから

辛いから

休みたいから



3.研修で学んだこと

どうしてミルクを足すことにしたのか？

家族に預けたいから

無理したくないから

泣き止まなくて

家族に言われて

大変だから

辛いから

休みたいから



そのミルクは本当に必要？

ミルクを勧めるは優しさではない

3.研修で学んだこと

支援者側が注意すること

母親を傷つけない言葉と態度

母親の話をよく聞き、最善策を共に考える


報告内容

1. 目標
2. 研修概要
3. 研修で学んだこと
4. 課題と対策
5. まとめ

4.課題と対策

課題① 母乳育児に関する情報を整理する

母乳育児に対する曖昧な認識
産院によって異なる指導




妊娠中に面談をし、情報提供をする
産院での指導を母から聞き、共に考える

4.課題と対策

課題② 母乳育児の継続を支援する

退院後や1か月児健診後、
授乳について相談できる人がいない



新生児訪問の利用を促す
身近な保健センターで継続的支援をする
母乳外来、助産院などの情報共有をする

報告内容

1. 目的と目標
2. 研修概要
3. 研修で学んだこと
4. 課題と対策
5. まとめ

5.まとめ

- ◎妊娠中から母乳育児の支援は始まっている
- ◎安易にミルクを勧めるのは優しさではない
- ◎地域だからこそできる！を大切にする

ご静聴、ありがとうございました

富山県母乳育児推進連絡協議会
「母乳育児のつどい」参加者アンケート

本日は、ご参加いただきありがとうございました。
今後の参考にするため、アンケートにご協力お願いいたします。

アンケートは
こちらから →



母乳育児に役立つ情報がいっぱい！
～上手に活用して子育てを楽しみましょう～

*リーフレット「母乳育児のQ&A」

母乳育児のよくある質問や母乳相談窓口を紹介しています。



*富山県のホームページ

以下の情報を掲載しています。

- 母乳のメリット
- 母乳育児を進めるコツ
- よくあるおっぱいに関するQ&A など



皆さまが楽しく育児ができる一助となる
よう病院や地域、自治体が一丸となって
取り組んでまいります！